



令和6年4月10日

報道関係 各位

名古屋市立大学病院

消化器・一般外科 部長 瀧口 修司

電話：052-853-8226

泌尿器科 部長 安井 孝周

電話：052-853-8266

手術用ロボット手術補助ユニット「ANSURサージカルユニット」を導入 全国で2施設目、東海地方初

名古屋市立大学病院は、腹腔鏡手術において執刀医が助手の鉗子・内視鏡カメラの両方を操作できる新しいコンセプトの外科手術支援ロボット「ANSUR(アンサー) サージカルユニット」を導入いたしました。当ロボットは令和5年2月に薬事承認され、当病院への納入が全国2施設目、東海地方では初の導入となります。

【ANSUR サージカルユニット 概要】

1. 名称

販売名：ANSUR サージカルユニット

製造販売業者：朝日インテック株式会社

2. 主な用途と特徴

一般消化器外科(食道を除く)、泌尿器科および婦人科の各領域における腹腔鏡手術において使用可能です。

一般的な腹腔鏡手術は「執刀医」、執刀医の指示で鉗子を用いて組織を把持・牽引する「助手」、内視鏡カメラを操作する「スコピスト」の3人の医師の連携で実施されますが、「ANSUR サージカルユニット」は「助手」と「スコピスト」の役割に特化した手術支援ロボットです。「ANSUR サージカルユニット」を用いることで、執刀医は自身の術具を用いて手術を進めながら、必要な場面でロボットの保持する鉗子・内視鏡カメラを操作することが出来ます。

ANSUR





腹腔鏡手術（左）と ANSUR サージカルユニット（右）との比較

3. 期待されること

ロボットが可能とする安定した視野の確保と組織の把持による手術のサポートにより執刀医は、自分が望む視野の中でより効率的に手術を進めることができ、患者様の体への負担軽減が期待されます。また、2人分の外科医の役割を1台のロボットが担うことで、外科医のワークライフバランスの改善・向上が期待されます。

【報道に関する問い合わせ】

名古屋市立大学 病院管理部経営課

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

TEL : 052-858-7116 FAX : 052-858-7537

E-mail : hpkouhou@sec.nagoya-cu.ac.jp